

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 津野町立 葉山小学校		校長	安岡 幸子	教員数	16	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合計						
		道徳教育推進教師	田井 真優	16	児童生徒数		学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数				
研究テーマ		道徳科の趣旨を踏まえた指導方法の工夫・改善と評価の在り方に関する実践研究により、児童一人一人の道徳性の向上を目指した道徳教育の推進																							
年度当初の学校の状況(5月調査を記載)		到達目標					中間検証(下半期に向けての改善事項)					年度末(2月)		到達目標達成状況											
道徳性に関する現状		肯定%		道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上 ①②道徳の学習に対する意識を95%以上にする。 ③家庭との連携に関する意識を85%以上にする。 ④自尊感情に対する意識を95%以上にする。 ⑤夢・志に関する意識は、95%以上の継続をする。 ⑥人間関係に関する意識を、95%以上にする。 ⑦社会貢献に関する意識を、95%以上にする。													現状		肯定%						
①道徳の勉強は、すきだ		92.4%															①								
②道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている		97.5%															②								
③家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている		83.9%															③								
④自分には、よいところがあると思う		92.4%															④								
⑤将来の夢や目標をもっている		98.3%															⑤								
⑥人が困っているときは、進んで助けている		94.9%															⑥								
⑦地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある		93.2%															⑦								
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)													指標達成状況の分析										
取組項目		取組の評価指標		5月～8月					中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)					達成状況		年度末評価								
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実		◆推進委員会が各学年の進捗状況を確認する。(学期に1回以上) ◆各学年の年間指導計画、別業に基づく取り組みの検証を行う。(学期に1回) ◆管理職、道徳推進教師は、全学級の道徳授業を参観する。		① 道徳教育の全体計画(各学年の別業)、各学年道徳科の年間計画の作成(4月下旬に提出) ・道徳の時間の年間指導計画の評価を記入(随時) ・各教科・行事等との関連について検証 ② 授業者と管理職、推進教師が事前研→授業実施→授業研のサイクルで検証 ③ 児童の意識調査の結果を集計、分析、活用 ④ 先進校の道徳研究会への参加						① 道徳教育の全体計画(各学年の別業)、各学年道徳科の年間指導計画に沿って、実施 ・道徳の時間の年間指導計画の評価を記入(随時) ・各教科・行事等との関連について検証 ② 授業者と管理職、推進教師が事前研→授業実施→授業研のサイクルで検証 ③ 児童の意識調査の結果を集計、分析、活用 ④ 道徳教育研究協議会や先進校視察において学んだことを報告し、効果的な取り組みを共有															
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究		◆全道徳授業を公開とし、道徳授業チェックシート【教師用】【児童用】を3.5以上にする。 ◆公開授業研においては、広く案内をして、授業についての意見をもらう。(6回以上) ◆思考ツールの活用など、学びの深まりが分かる板書の工夫をする。		① 授業研究2回(講師招聘) ② 道徳授業チェックシート(全児童・全教師)の集計、分析、活用 ③ 他校(指定校)の公開授業への参加(1回、計2名) ④ 学習指導案、教具、板書写真、ワークシート等の整理保管						① 授業研究4回(講師招聘) ② 道徳授業チェックシート(全児童・全教師)の集計、分析、活用 ③ 他校(指定校)の公開授業への参加(1回、計2名) ④ 学習指導案、教具、板書写真、ワークシート等の整理・保管															
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究		◆認め、励ます評価について評価の仕方を共有する。(学期に1回) ◆通知表に記載するための個人データを一人につき3つ以上は、保存していき、評価に活用する。		① 道徳ファイルを活用し、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握→評価方法を校内で共有→通知表に記載 ② 毎時間の授業評価として、児童の主体性・多面的・多角的な見方・自己との関わりについて評価 ③ 評価方法についての校内研修を実施(1回以上)						① 道徳ファイルを活用し、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握→評価方法を校内で共有→通知表に記載 ② 毎時間の授業評価として、児童の主体性・多面的・多角的な見方・自己との関わりについて評価 ③ 評価方法についての校内研修を実施(1回以上)															
家庭・地域と連携した道徳教育の推進		◆地域の道徳コーディネーターを中心に、家庭・地域に呼びかけ、道徳授業についての参加率を37%から40%、参画数を69人から70人に増やすことを目指す。 ◆「高知の道徳」を活用して、保護者・地域の方に発信する。(毎月1回)		① 道徳授業に、地域・保護者の方が参加し、家庭・地域を巻き込んだ道徳教育を展開 ② 道徳日よりで、「高知の道徳」の内容を内容項目順に紹介、啓発						① 地域の道徳コーディネーターと連携を取りながら、幅広い年齢の方々の授業参加・参画のもと、児童に多様な考えを持たせる。 ② 道徳日よりで、「高知の道徳」の内容を内容項目順に紹介、啓発、返信を活用し、道徳教育についての意識を高める。 ③ 全学級公開の道徳参観日の実施 ・保護者アンケートの実施・取りまとめ・分析、共有															

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)